# （提案書様式）

*【重要】提案者の記入方法（以降も共通）*

***＜応募時点で個人の場合＞***

*法人設立準備中の方は、「名称」「代表者氏名」とも“個人名”を記入してください。役職は不要です（現時点での所属・役職を記入するものではありません）。*

***＜応募時点で法人の場合＞***

*「名称」は法人名を、「代表者名」は役職・氏名を記入してください。*

***提案書様式は、「情報項目\_提案書様式１\_別紙２」【MS-Excel】の書式で作成することも可能です。数値等、情報項目シートからの自動出力されます。***

***どちらかで作成し、提出してください。***

***（社内文書番号がある場合は記入。無い場合は削除）***番 号

***（提出日を記載）***年 月 日

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

理事長 殿

提案者　住 所

名 称

代表者名 　***役職***

***根戸花子***

|  |  |
| --- | --- |
| e-Radの研究機関コード（１０桁） |  |

課題設定型産業技術開発費助成金交付に係る提案書

（地域に眠る技術シーズやエネルギー・環境分野の技術シーズ等を活用したスタートアップの  
事業化促進事業　事業１コース）

記

1. 助成事業の名称

***事業内容が分かる短く簡潔な名称とし、３０字以内で記入してください。「」はつけないでください。***

2. 助成事業の概要

***助成を申請する事業内容を150字以内厳守で要領よく記入してください。***

***Web公開する可能性がありますので、対外的に公表して問題ない内容としてください。***

3. 助成事業の総費用

事業化に向けた最良の研究開発計画（プランA） 　　　　　　円

事業化に向けた最小限の研究開発計画（プランB） 　　　　　　円

***定額助成のため、４．助成金交付提案額と本欄は一致させてください。***

***別紙２助成先総括表の合計を転記してください。すべて消費税抜で記入してください。***

***90,225,330円のように円単位で記入してください。***

***「出資に関する関心表明書」または2021年11月26日以降に出資を受けたことを証明する「出資に関する報告書」の提出がある場合にはプランAで交付決定が可能です（プランBは“該当なし”と記入してください）。***

4. 助成金交付提案額

事業化に向けた最良の研究開発計画（プランA） 　　　　　　円

事業化に向けた最小限の研究開発計画（プランB） 　　　　　　円

***別紙２助成先総括表の事業期間全体の助成金の額を転記してください。***

***プランAの助成金の上限額は2,000万円、プランBの助成金の上限額は1,000万円またはプランAの2/3以下のどちらか小さい方です。***

***「出資に関する関心表明書」または2021年11月26日以降に出資を受けたことを証明する「出資に関する報告書」の提出がある場合にはプランAで交付決定が可能です。（プランBは“該当なし”と記入してください）。***

***上記資料が未提出の場合にはプランBで交付決定し、2022年8月31日までに取得できた場合には必要な手続きを経てプランAに計画変更が可能です。***

5. 補助率 定額助成

6. 助成事業の開始及び終了予定年月日

開始年月日　　　　　　　　　　交付決定通知書に記載する事業開始の日から

終了予定年月日　　　　　　　　○○○○年○月○日***・最長2023年3月31日まで***

7. 助成事業期間における資金計画

（１）収支計画

（単位：円）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 区分 | 2022年度 | |
| プランA | プランB |
| 支出 | 助成事業に要する経費 |  |  |
| 収入 | Ⅰ．自己資金 |  |  |
| Ⅱ．借入金 |  |  |
| Ⅲ．その他の収入 |  |  |
| (小計) |  |  |
| Ⅳ．助成金交付提案額 |  |  |
| 合計 |  |  |

***消費税抜きの金額としてください。***

***助成事業に要する経費は、別紙２「項目別明細表」の合計を年度ごとに転記してください。***

***Ⅳ．助成金の交付提案額は、別紙２「助成先総括表」の助成金の額を年度ごとに転記してください。***

VCや事業会社からの新たな出資を本事業に組み込む場合には、「Ⅲ．その他収入」に記入してくださ

***い。既に出資済みの場合は、必要な資金を自己資金に記載してください。***

（２）借入金等の調達方法

***・Ⅱ借入金、Ⅲその他の収入について、その調達方法を記載ください。***

***上記表を補足するため、必要な資金をいつどのように調達するか記載してください。***

8. 助成事業に係る連絡先

担当者所属

役職・氏名

郵便番号、住所

電話番号

Ｅメールアドレス

# （添付資料１）

会社概要（法人設立済 法人設立準備中）

***・どちらかに☑をしてください。***

***・採択決定日から原則30日以内に法人格を有することが応募要件です***

***※1～10は「法人設立済」の方のみ記入（「法人設立準備中」の方は11を記入すること）***

１．提案者（法人名）

法人番号　　　　***・13桁の番号***

代表者名

住所

電話番号　　　　***・代表電話番号もしくは連絡先電話番号を記入してください。***

法人の履歴　　　・***法人の履歴（沿革）を簡単に記入してください。***

２．設立年月

***○○○○***年***○***月***（西暦で記入）***

３．資本金及び主たる株主

資本金　　　　***00,000***　千円

株主（上位５者）

株主 １．***（株）○○***　 　　　（持株比率　○○％）

２．***□□　□□***　　　　（持株比率　○○％）

３．***（有）△△*** 　　　　（持株比率　○○％）

４．***××（株）***　　　　（持株比率　○○％）

５．　　　　　　　　　（持株比率　○○％）

VC・事業会社からの投資実績・予定

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 出資を受けた日 （年月日）  ※予定は「予定」と記載 | 投資ラウンド | 名称 | 出資額 （千円） | 取得株数 |
| ***2022年5月△日予定*** |  | ***×××キャピタル*** |  |  |
| ***2021年○月○日*** |  | ***×××株式会社*** |  |  |
| ***2021年○月○日*** |  | ***×××キャピタル*** |  |  |
|  |  |  |  |  |

４．従業員数

***00***　人(内訳　経営者：　　人、従業員：　　人、パートタイム：　　人)

５．応募要件等から見た会社状況

提案者は未上場企業である。

***・申請者が未上場である場合にチェック（☑）をしてください。***

提案者は中小企業者に該当する法人である。

***・公募要領の３．応募要件（１）⑧を確認し、チェック（☑）をしてください。***

提案者はみなし大企業ではなく、直近過去3年分の各年又は各事業年度の課税所得の年平均額が15億円を超えない

***・公募要領の３．応募要件（１）⑧を確認し、チェック（☑）をしてください。***

６．会計監査人名

***・会計監査人の設置については、会社法３２７条及び３２８条により大会社や指名委員会等設置会社などに設置が義務付けられている株式会社の機関の一つです。監査役と異なり、独立的な立場から財務諸表等の監査を行います。***

***なお、大会社、委員会設置会社以外の株式会社も会計監査人を設置することができます。設置されている場合は公認会計士または監査法人名を記載してください。会計監査人の設置がない場合は”なし”と記入ください。***

７．主たる業種

***・主たる事業の業種を１つ記入ください。***

８．現在の主要事業内容（主な製品等）

***現在の事業内容（主な製品等）を記入してください。また、過去５年間に市場に出した主要な新事業または新製品をあげ、その売上高を記入してください。***

***例： 新事業/新製品名*** ***新事業/新製品の説明*** 　***売上高***

***年度 新製品名１ 　　～～～～～ 　　 ○○○百万円***

***新製品名２ 　　～～～～～ 　　 ○○○百万円***

***年度 新事業１ 　　～～～～～ 　　 ○○○百万円***

***年度 新製品名○ 　　～～～～～ 　　 ○○○百万円***

９．売上高

***00,000***　百万円

１０．決算日

***○***月　***○***日

１１．NEDO提案事業の業種

***日本標準産業分類の中分類を参考に業種を１つ記入してください。***

# （添付資料２）

事業化実施計画

**Ⅰ．事業化実施計画詳細**

１．事業概要

（１）本事業をはじめるきっかけ、動機、目的

***・本事業に取り組む動機（創業の想い等）を簡潔に説明してください。***

（２）メンバーの強み・役割

・主要メンバーの略歴や保有スキル等と事業開発の関連性を説明してください。

　①役職：CEO

　　名前（ふりがな）

　　生年月日　年齢

　　最終学歴、学位及び取得年（西暦）

　　事業経歴

　　アピールポイント

　　当該申請会社の他に兼任している業務内容

　②役職：CTO

　　名前（ふりがな）

　　生年月日　年齢

　　最終学歴、学位及び取得年（西暦）

　　事業経歴

　　アピールポイント

　　当該申請会社の他に兼任している業務内容

２．ターゲット市場と顧客のペイン

・市場規模およびその成長性について説明してください。

***・御社の解決する顧客のペイン（痛みを伴うほどの強いニーズ）を説明してください。***

・上記について根拠（出典）があれば示してください。また、ヒアリングや実証等を通じてペインの蓋然性を確認している場合、開示可能な範囲で記載してください。

３．提供するソリューションとビジネスモデル

***・上記顧客のペインを解決する自社のソリューションは何か。また、それをどのように顧客に届けるのか。そのキーテクノロジーは何か。なお、技術の詳細については、下記記載欄「４．ソリューションのコアとなる技術シーズ・自社の強み」に示してください。***

***・可能な範囲でイラストやダイヤグラム等で説明してください。***

４．ソリューションのコアとなる技術シーズ・自社の強み

・想定顧客のペインに対して、他社にはないどのような技術・自社の強みで、顧客のペインを解決しようとしているのか説明してください。

・IP（特許）の取得状況や今後の見通し等も含めて競争優位性を説明してください。また、ネットワーク効果等の参入障壁が構築できる場合にはその内容についても説明してください。

５．ベンチマーク

***・顧客目線での競合比較をしてください。***

６．現在の開発状況

***・顧客ニーズを満たすソリューションを実現する上で、提案時点での成熟度（ラボレベル、試作段階（プロトタイプ）、製品化段階など）を記載してください。***

７．事業化に向けて検証する課題とその検証方法・スケジュール

***・現時点から事業の立ち上げにあたって、充足されていない要素（課題）を記載してください。***

***・上記の課題を解決するために必要なリソース（資金、設備、人員、アライアンス先、など）を記載してください。アライアンス先であれば実際の企業名など、なるべく具体的に記載してください。また、それらを線表等を活用して整理してください。***

***・研究開発以外の課題についても記載してください。***

８．売上見通し

（１）想定販売価格

***・現時点で想定している販売価格を記載してください。***

（２）売上見通し（単位：百万円）

***・いつ頃売上が出る見込みかその時期（20XX年）を書いてください。***

***・「ターゲット市場と顧客のペイン」に記載の市場規模を踏まえて、売上の見通しについて記載してください。***

（３）売上見通し設定の考え方

***・（２）の前提条件や仮説等を記入してください。***

９．資金調達計画とエグジットの見通し

***・どの時期に、何の目的（資金使途）で、いくら資金調達（シード、シリーズA、B、C・・）を予定しているのか記入してください。***

***・想定しているIPOやM&Aなどのエグジットプランを説明してください。***

１０．事業の社会貢献性

***ア）、イ）のいずれかまたは両方を記載してください。ただし、添付資料１ 11. NEDO提案事業の業種において情報サービス業、インターネット付随サービス業を選択された方は、ア）について必ず記載してください。***

ア）エネルギー・環境分野への社会貢献性（解決につながる課題とその根拠）

***・本事業がエネルギー・環境分野の社会課題解決にどう結びつくのか説明してください。***

***・また、本事業によるCO2削減効果を定量的に算出できる場合には記載してください。***

イ）その他の分野への社会貢献性（解決につながる社会課題とその根拠）

***・本事業がエネルギー・環境分野以外の社会課題解決にどう結びつくのか説明してください。***

***・また、その効果を定量的に算出できる場合には記載してください。***

**Ⅱ．事業化に向けたNEDO事業期間の開発計画**

１．NEDO事業期間中の実施計画の細目

（１）目的及び目標

①NEDO事業の目的

***・「提供するソリューション」「現状の開発状況」等を踏まえて、NEDO事業期間中に達成したいことを記載してください。***

②NEDO事業の目標

***・NEDO事業期間中の目標と検証手段を記載してください。***

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 助成事業期間中の開発目標 | 検証手段 |
| **目標１** | ***●●に関して、反応効率９０％以上を達成できる触媒を定する。*** | ***パイロット実験システムを構築。候補とする触媒●、▲、■などを対象として検証する。*** |
| **目標２** | ***生成物の純度９５%以上を達成できる条件を確定する。*** | ***生成物重量比、反応温度、撹拌速度について最適な反応条件を探索する。*** |
| **目標３** | ***物質●●の市場性を、■■分野について調査確認する。また市場については、日、米を中心に調査する。*** | ***●●分野のメーカーなどを中心に、市場調査を行う。また、物質●●を使用した最終製品のエンドユーザーヒアリングを行う。*** |

③上記目標の設定理由

***・上記目標と達成手段の設定理由を箇条書きで記入してください。***

***・記入にあたって、明確（達成できるレベルを数値により定量的に）かつ簡潔に記入してください。***

***・国内外の競合技術との比較や、ユーザーが要望する製品スペックとの関係等についても説明してください。***

（２）NEDO事業の概要（各組織の役割）

(a)提案者の役割

***・NEDO事業期間中の目標を達成するにあたり、提案者の役割を記載してください。***

(b)共同研究等の相手先の役割と協力項目

***・該当なしの場合は「該当なし」と記載してください。***

***・提案者のうち、共同研究先の研究機関にも籍を置く者がいる場合、“NEP提案者”、“共同研究先”それぞれの立場における役割を明確にし、利益相反等を回避するための対応を説明してください。***

(c)共同研究等の成果の取扱い

***・知財権の帰属について記載してください。***

（３）NEDO事業期間中の研究開発の内容

***（１）１②に記載した目標を達成するための内容を具体的に記載してください。***

目標１：***反応効率９０％以上を達成できる触媒を選定する。***

技術課題：***・・・・・・・***

克服手段：実用化開発項目ア）***・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

***・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

実用化開発項目イ）***・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

***・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

目標２：***生成物の純度９５%以上を達成できる条件を確定する。***

技術課題：***・・・・・・・***

克服手段：実用化開発項目ウ）***・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

***・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

***目標３：　　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

***技術課題：・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

***克服手段：・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

***目標４：・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

***技術課題：・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

***克服手段：・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

２．実施計画

***１．（３）のスケジュールを線表に整理してください。***

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 実施するプランに○を記入 | | 事業項目 | 2022年度 | | | |
| プランA | プランB | 第１  四半期 | 第２  四半期 | 第3  四半期 | 第4  四半期 |
|  |  | ***目標１*** |  |  |  |  |
| ***○*** | ***○*** | ***実用化開発項目ア）*** |  |  |  |  |
| ***○*** |  | ***実用化開発項目イ）*** |  |  |  |  |
|  |  | ***目標２*** |  |  |  |  |
| ***○*** | ***○*** | ***実用化開発項目ウ）*** |  |  |  |  |
| ***○*** |  | ***実用化開発項目エ）*** |  |  |  |  |
|  |  | ***目標３*** |  |  |  |  |
| ***○*** |  | ***実用化開発項目オ）*** |  |  |  |  |
| ***○*** |  | ***実用化開発項目カ）*** |  |  |  |  |

３．NEDO事業における研究開発体制等

（１）研究開発体制図

共同研究等の相手先

研究開発体制

　　　　　研究員A 研究員B　　　　研究員C　　　研究員D　　　　　研究員A　　研究員B

　　　　　　(氏名)　　　(氏名)　　　　（氏名） （氏名）　　　　　（氏名）　　（氏名）

(役割) (役割) (役割) (役割)　　　　　（役割）　　（役割）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　共同研究先

研究開発体制図

***・助成事業を遂行する体制と、研究者の氏名、役割分担を、図で具体的に記入してください。図の書式は自由に変更していただいて構いません。***

***＜例＞　研究員Ａ　根戸次郎　試作品の分析評価***

***・共同研究先がある場合、提案者と共同研究等の相手先（大学などの研究機関等と事業会社）とのそれぞれの役割が分かるように記入してください。事業会社が複数の場合には、主たる連携先１社を記してください。***

***・ただし、費用計上可能な共同研究先は１機関のみで、なおかつ大学などの学術機関に限ります。***

***・助成費用の対象外となる共同研究先についても、事業の全体像を示すために記載してください。ただし、助成費用の対象外については、研究員の記載は必須ではありません。***

（２）助成先における研究体制（別紙１）

　　　　別紙１を参照

***・公募ページに公開されているExcelファイル「別紙1」の様式を使用してください。***

（３）共同研究先における研究体制（費用計上を行う学術機関）（別紙１）

　　　　別紙１を参照　又は　該当なし

***・費用計上する学術機関と共同研究を行う場合は作成してください。***

***・公募ページに公開されているExcelファイル「別紙1」の様式を使用してください。***

（４）委員会等における外部からの指導又は協力者（別紙１）

　　　　別紙１を参照

***・公募ページに公開されているExcelファイル「事業1コース\_3\_別紙1.xlsx」の様式を使用してください。***

４．助成事業に要する費用の内訳等（プランA）

（１）全期間総括表（別紙２）

　　　　別紙２を参照

（２）助成先、研究分担先、分室総括表（別紙２）

　　　　別紙２を参照

（３）委託先、共同研究総括表（別紙２）

　　　　別紙２を参照　又は　該当なし

（４）項目別明細表（別紙２）

　　　　別紙２を参照

５．助成事業に要する費用の内訳等（プランB）

***「出資に関する関心表明書」または「出資報告書」を追加資料ファイルとして提出可能な場合、こちらは不要です。「出資に関する関心表明書を取得しているため該当なし」または「出資報告書を提出しているため該当なし」と記入してください。***

（１）全期間総括表（別紙２）

　　　　別紙２を参照　又は　該当なし

（２）助成先、研究分担先、分室総括表（別紙２）

　　　　別紙２を参照　又は　該当なし

（３）委託先、共同研究総括表（別紙２）

　　　　別紙２を参照　又は　該当なし

（４）項目別明細表（別紙２）

　　　　別紙２を参照　又は　該当なし



***・公募ページに公開されているExcelファイル（事業1コース\_3\_別紙1.xlsx）内の様式を使用してください。***

***・グレーの部分は（提案書提出の時点では）記載不要です。***

***・研究実施場所が複数ない場合は、①のみ記載ください。***



***・公募ページに公開されているExcelファイル（事業1コース\_3\_別紙1.xlsx）内の様式を使用してください。***

***・費用計上を行う学術機関について記入ください。***

***・該当しない場合は、作成不要です。***



***・必要があれば、記載してください。なければ氏名欄に「なし」と記載してください。***

***・公募ページに公開されているExcelファイル（事業1コース\_3\_別紙1.xlsx）内の様式を使用してください。***



***・公募ページに公開されているExcelファイル（事業1コース\_4\_情報項目\_提案書様式別紙2.xlsx）内の様式を使用してください。***



***・公募ページに公開されているExcelファイル（事業1コース\_4\_情報項目\_提案書様式別紙2.xlsx）内の様式を使用してください。***





***・公募ページに公開されているExcelファイル（事業1コース\_4\_情報項目\_提案書様式別紙2.xlsx）内の様式を使用してください。***

・「金額」の欄に記入する単価は、消費税抜きの金額としてください。

***・「助成事業に要する経費」はこの助成費用を進めるに当たり必要な費用、「助成対象費用」はその内の助成対象としてNEDOに計上する費用を記入してください。***



***・費用計上を希望する研究機関と共同研究を行う場合は作成ください。***

***・公募ページに公開されているExcelファイル（事業1コース\_4\_情報項目\_提案書様式別紙2.xlsx）内の様式を使用してください。***

・「金額」の欄に記入する単価は、消費税抜きの金額としてください。

***・「助成事業に要する経費」はこの助成費用を進めるに当たり必要な費用、「助成対象費用」はその内の助成対象としてNEDOに計上する費用を記入してください。***

***・間接経費は、直接経費の10%(大学は15%)を上限としています。***



***・公募ページに公開されているExcelファイル（事業1コース\_4\_情報項目\_提案書様式別紙2.xlsx）内の様式を使用してください。***



***・公募ページに公開されているExcelファイル（事業1コース\_4\_情報項目\_提案書様式別紙2.xlsx）内の様式を使用してください。***





***・公募ページに公開されているExcelファイル（事業1コース\_4\_情報項目\_提案書様式別紙2.xlsx）内の様式を使用してください。***

・「金額」の欄に記入する単価は、消費税抜きの金額としてください。

***・「助成事業に要する経費」はこの助成費用を進めるに当たり必要な費用、「助成対象費用」はその内の助成対象としてNEDOに計上する費用を記入してください。***



***・費用計上を希望する研究機関と共同研究を行う場合は作成ください。***

***・公募ページに公開されているExcelファイル（事業1コース\_4\_情報項目\_提案書様式別紙2.xlsx）内の様式を使用してください。***

・「金額」の欄に記入する単価は、消費税抜きの金額としてください。

***・「助成事業に要する経費」はこの助成費用を進めるに当たり必要な費用、「助成対象費用」はその内の助成対象としてNEDOに計上する費用を記入してください。***

***・間接経費は、直接経費の10%(大学は15%)を上限としています。***

# 【別添１】

キーワード及び専門用語の解説

１．キーワード

(1)技術キーワードとして、当該実用化開発（自社が開発しようとしている内容に関連する最も重要と思われる技術）の「キーワード」を重要なものから順に記入してください。

公募要領別添（技術キーワード集）から必ず３つは選択し、その該当数字をキーワードの前につけて記入してください。

公募要領別添（技術キーワード集）に無いキーワードは、本欄に記入せず、（４）フリーキーワードに記入してください。

(2)事業化キーワードとして、製品分野･サービス展開上のキーワードを記入してください。

(3)フリーキーワードとして、(1)～(3)以外の語句を記入してください。

＜重要＞

記入されたキーワード（特に（１）技術キーワード）は、申請内容を評価する外部専門家を、適切な専門分野から選定する際の必須情報として用います。必ず3つ以上記入してください！！

（１）技術キーワード（３つ以上必ず記入すること）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| (1) ***例：1010*** | ***アミノ酸、ペプチド*** | (2) |  | (3) |  |
| (4) |  | (5) |  | (6) |  |

（２）事業化キーワード

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ***例：ユビキタス社会*** | ***例：街頭広告*** |  |

（３）フリーキーワード

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ***例：３Ｄ画像技術*** |  |  |

２．専門用語の解説

***・提案書に記載された専門用語について、特に必要と思われるものについて、簡単に説明してください。***

# 【別添２】

その他の補助金制度との関係等

１．補助金制度等による受給の有無

（１）補助金制度等による受給を受けた事業（申請時点で補助金を受け実施中の内容も含む。）

|  |  |
| --- | --- |
| 実施機関の名称 | *▲▲省* |
| 制度の名称 | *○○年度××開発補助金* |
| 採択者名称 | *◇◇株式会社* |
| 研究者名（エフォート） | *▲▲部　◎◎◎◎　主任研究員（５０％）、▽▽▽▽▽研究員（７５％）* |
| 対象期間 | *年　月　日　～　　年　月　日* |
| テーマ名 | *～～の開発* |
| 補助金額 | *○○円* |
| 事業の概要  （目標・成果） | *詳しく、明瞭に記述してください。* |
| 本申請との差異 | *本申請との重複が無いことを明確に判断できるように記入してください。* |

* ***当該実用化開発の全て若しくは一部及び当該実用化開発に関連した開発で国、ＮＥＤＯ及びその他の独立行政法人、地方自治体等からの委託（再委託を含む）又は補助金交付を受けたことがある場合、その概要を記入してください。***
* ***複数ある場合は表をコピーして補助金ごとに記入してください。***
* ***無い場合には、「無し」と記入してください。（「無し」の場合、表は削除してください。）***
* ***記入内容としては、実施機関の名称、制度の名称、対象期間、補助金の額、成果（特に実用化した場合の事業展開）、本申請との差違を記入してください。***
* ***記入等の不備により、類似・同一の研究開発で補助金等の受給が判明した場合は、虚偽の申請として審査の打ち切り、交付決定後の場合でも交付決定の取り消し等を行うことがあります。***
* ***なお、研究項目が異なっていても、同一製品、サービスの実用化に供する開発については、重複とみなします。***

（２）補助金制度等による受給を申請中又は申請予定の事業

|  |  |
| --- | --- |
| 実施機関の名称 | *▲▲省* |
| 制度の名称 | *○○年度××開発補助金* |
| 申請者名称 | *◇◇株式会社* |
| 研究者名（エフォート） | *▲▲部　◎◎◎◎　主任研究員（５０％）、▽▽▽▽▽研究員（７５％）* |
| 対象期間 | *年　月　日　～　　年　月　日* |
| テーマ名 | *～～の開発* |
| 補助金額 | *○○円* |
| 事業の概要  （目標） | *詳しく、明瞭に記述してください。* |
| 本申請との差異 | *本申請との重複が無いことを明確に判断できるように記入してください。* |

* ***当該実用化開発の全て若しくは一部及び当該実用化開発に関連した開発を、国、ＮＥＤＯ及びその他の独立行政法人、地方自治体等に現在申請中、あるいは申請を予定している場合、その概要（実施機関の名称、制度の名称、対象期間、補助金の額、目標、本申請との差違等）を記入してください。***
* ***複数ある場合は表をコピーして補助金ごとに記入してください。***
* ***無い場合には、「無し」と記入してください。（「無し」の場合、表は削除してください。）***
* ***なお、研究項目が異なっていても、同一製品、サービスの実用化に供する開発については、重複とみなします。***

２．過去にＮＥＤＯ等で実施した事業との関係

本申請が、過去にＮＥＤＯ等で実施した研究開発事業の成果を活用したものであり、本申請の助成事業を実施することにより、その成果の実用化が加速すると考えられる場合には以下に記入してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 実施機関の名称 | *NEDO* |
| 制度の名称 | *○○年度××開発補助金* |
| 採択者名称 | *◇◇株式会社* |
| 研究者名（エフォート） | *▲▲部　◎◎◎◎　主任研究員（５０％）、▽▽▽▽▽研究員（７５％）* |
| 対象期間 | *年　月　日　～　　年　月　日* |
| テーマ名 | *～～の開発* |
| 補助金額 | *○○円* |
| 本申請との関係 | *詳しく、明瞭に記述してください。* |

３．過去にNEDOの研究開発型スタートアップ支援制度に応募して不採択となった事業との関係（相違点）

　過去にNEDOの研究開発型スタートアップ支援制度のNEP、STS、STS2、SCA、CRI、PCA、TRYに応募して不採択となった事業がある場合には、その事業と本申請との関係（相違点）を以下に記入してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 実施機関の名称 | *NEDO* |
| 制度の名称 | *XX年度シード期の研究開発ベンチャーに対する事業化支援（ＳＴＳ）* |
| 申請者名称 | *◇◇株式会社* |
| 研究者名 | *▲▲部　◎◎◎◎　主任研究員* |
| 提案日 | *年　月　日* |
| テーマ名 | *～～の開発* |
| 本申請との関係  （相違点） | *過去に不採択となった応募事業のうち、直近の事業に関して、その後本申請時までの進捗状況等について、詳しく明瞭に記述してください。*  *・不採択後の進捗・変化点*  *・改善ポイント等* |

STS：シード期の研究開発ベンチャーに対する事業化支援

SCA：企業間連携スタートアップに対する事業化支援

CRI：橋渡し研究開発促進による事業化支援

PCA：提案時から数年で継続的な売り上げをたてる具体的な計画がある研究開発型スタートアップを  
支援

TRY：2020年初頭からの急激な市場環境の変化をチャンスと捉えた事業化を支援

# 【別添３】

－ 主任研究者研究経歴書の記入について －

研究経歴書は、研究開発等実施体制の審査のために利用されます（ただし、法令等により提供を求められた場合を除きます）。

事業の遂行を管理し、各種文書の提出や研究員の従事日誌の確認等を行う助成事業を遂行する際の責任者である主任研究者について、研究経歴を主任研究者研究経歴書（様式１）に記入し提出してください。

なお、主任研究者は研究実施場所ごとに登録が必要です（共同提案の場合、提案者ごとに最低1名は登録が必要です）。また研究員が主任研究者を兼ねることも可能です。

【記入にあたっての注意点】

①研究開発経歴（現職含む）：

* 1. 「過去の研究実績（参画プロジェクト）」については、自社独自のプロジェクトのみならず過去に参画したNEDOプロジェクト等も含めて記載してください。また、大学への派遣や他の企業／研究機関での勤務経験なども併せて記載してください。

②受賞歴、当該研究開発に関する最近５年間の主要論文、研究発表、特許等（外国出願を含む）：

* 1. 当該研究開発プロジェクトに関連する研究成果を記載してください。
  2. 研究成果を示すものとして、「論文（研究経歴又は専門分野における代表的な論文。学会の査読の無いもの等も可）」、「研究発表（学会のみならずシンポジウム等での口頭発表等も可）」、「特許（外国出願を含む）」等がありますが、これに限定しません。なお、共著者、共同発表者、又は共同発明者でも可です。

　　　※　「論文、研究発表、特許等」は、原則として少なくてもこれらのうち１つについて当該分野に関する研究成果を示す記述があることが必要となります。これらがない研究者においては、「その他」項目に当該プロジェクトを遂行する上で当人の知見が不可欠であることを示す事由を記載してください。技能者や分析担当者・技術動向調査担当者等において、「論文」「研究発表」「特許」等が無い場合については、当該人物が研究に不可欠である旨を有する技能や経験に関連付けて記述してください。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |  |  |  | 経歴書作成日： | |  | | |
| 主任研究者　研究経歴書 | | | | | | | | | | | |
| 氏名 | | | |  | | | | | | | |
| フリガナ | | | |  | | | | | | | |
| 生年月日（西暦）、年齢 | | | |  | | | | | | | |
| 所属研究機関のe-Rad研究機関コード（10桁） (所属研究機関の研究代表者は必須。) | | | |  | | | | | | | |
| e-Rad研究者番号（8桁） （所属研究機関の研究代表者は必須。代表者以外は不明または保有していない場合は省略可） | | | |  | | | | | | | |
| 所属 | | | |  | | | | | | | |
| 部署名 | | | |  | | | | | | | |
| 役職名 | | | |  | | | | | | | |
| 所属機関の研究者代表 （該当：１　非該当：２） | | | |  | | | | | | | |
| 最終学歴 | | | |  | | | | | | | |
| 学位 | | | |  | | | | | | | |
| 学位取得年（西暦） | | | |  | | | | | | | |
| 研究開発経歴（西暦　※現職含む） | | | | | | | | | | | |
|  | 年 | ～ | 年 | 研究開発内容 | | | | | | | |
|  | ～ |  |  | | | | | | | |
|  | ～ |  |  | | | | | | | |
|  | ～ |  |  | | | | | | | |
|  | ～ |  |  | | | | | | | |
|  | ～ |  |  | | | | | | | |
|  | ～ |  |  | | | | | | | |
|  | ～ |  |  | | | | | | | |
|  | ～ |  |  | | | | | | | |
|  | ～ |  |  | | | | | | | |
|  | ～ |  |  | | | | | | | |
| 受賞歴（西暦　※年月） | | | | | | | | | | | |
|  | 年 | 月 |  | 主催者名 | 表彰制度名称 | 受賞名称 | 受賞件名 | | | | 備考 |
|  |  |  |  |  |  |  | | | |  |
|  |  |  |  |  |  |  | | | |  |
|  |  |  |  |  |  |  | | | |  |
|  |  |  |  |  |  |  | | | |  |
|  |  |  |  |  |  |  | | | |  |
| 当該研究開発に関連する最近5年間の成果等（各主要なもの10件以下） | | | | | | | | | | | |
| 論文 | 発行年 | 月 |  | 主な著者１ | 著者２ | 著者３ | 表題 | 論文雑誌名 | 巻（Vol.） | 号 | 備考 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 研究発表 | 発表年 | 月 |  | 主催者名 | イベント名 | 発表者 | 発表タイトル | | | | 備考 |
|  |  |  |  |  |  |  | | | |  |
|  |  |  |  |  |  |  | | | |  |
|  |  |  |  |  |  |  | | | |  |
|  |  |  |  |  |  |  | | | |  |
|  |  |  |  |  |  |  | | | |  |
|  |  |  |  |  |  |  | | | |  |
|  |  |  |  |  |  |  | | | |  |
|  |  |  |  |  |  |  | | | |  |
|  |  |  |  |  |  |  | | | |  |
|  |  |  |  |  |  |  | | | |  |
| 特許等 | 出願年 | 月 | 日 | 出願番号 | 登録番号 | 発明等の名称 | | | | | 備考 |
|  |  |  |  |  |  | | | | |  |
|  |  |  |  |  |  | | | | |  |
|  |  |  |  |  |  | | | | |  |
|  |  |  |  |  |  | | | | |  |
|  |  |  |  |  |  | | | | |  |
|  |  |  |  |  |  | | | | |  |
|  |  |  |  |  |  | | | | |  |
|  |  |  |  |  |  | | | | |  |
|  |  |  |  |  |  | | | | |  |
|  |  |  |  |  |  | | | | |  |
| その他 | 年 | 月 |  | タイトル | 自由記述 | | | | | | |
|  |  |  |  |  | | | | | | |
|  |  |  |  |  | | | | | | |
|  |  |  |  |  | | | | | | |
|  |  |  |  |  | | | | | | |
|  |  |  |  |  | | | | | | |
| 本研究開発プロジェクトにおける役割 | | | | | | | | | | | |
|  | | | | | | | | | | | |

研究開発等実施体制の審査のために利用されます。ただし、法令等により提供を求められた場合を除きます。

# 【別添４】

★役員一覧

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 氏名 | 役職名 | 備考 |
| ***根戸　太郎*** | ***代表取締役社長*** |  |
| ***研開　次郎*** | ***取締役*** | ***△△株式会社　川崎市幸区　取締役*** |
|  |  |  |
|  |  |  |

※大企業の役員又は職員を兼ねている場合は、備考欄にその会社名、所在地、役職名を記入してください。

★利益相反マネジメントについて

***提案者の役員及び主任研究者（登録研究者含む）が大学等と兼職を担っている場合は、利益相反マネジメント体制、現時点の対応状況について記入してください。***

***該当者がいない場合は、「該当者なし」と記入ください。***

★J-Startup認定

***提案時点でJ-Startup（地域版を含む）に認定されている企業は、□にチェック（☑）してください。***

J-Startup認定

J-Startup HOKKAIDO認定

J-Startup TOHOKU認定

J-Startup NIIGATA認定

J-Startup CENTRAL認定

J-Startup KANSAI認定

J-Startup ( )認定

# 【別添５】

***当該事業に関連する特許公報の写しを添付してください（任意提出）***